



いきいき弥小っ子



弥彦小学校ブログ 日々更新中! <http://yahikosyou.blog-niigata.net> 文責 校長 木嶋 達平

「みんなで創る **カラフル**な学校」が今年度のキャッチフレーズ



昨年度末より当校の現状を職員で分析した結果、令和5年度は、「多様性（ダイバーシティ）の尊重」をキーワードに教育活動を行っていきます。

学校は、子どもたちにとって一番身近な「社会」です。これからの時代を生きる子どもたちは、多様な価値観、異文化、人種、性別、障害の有無等の違いを認識し、話し合いを通じて最適な答えを導き出さなければなりません。これまでの日本教育が行ってきた「正解主義」では、社会で生きる力は

育ちません。まずは、「お互いの違いを認め合う」、言い換えれば「相手の立場に立つ能力」を育てるところからスタートする必要があります。この考えは、インクルーシブ教育にもつながるものです。

子どもたちにとって学校は社会そのものです。学校において「多様性の尊重」をキーワードに、教育活動を行うことが、誰もが希望を持って日々自分らしく生きられる、誰もが自分の目標に向けて挑戦できる、誰もが能力を発揮し、将来社会に参画し活躍できる人を作る基盤になると考えています。

私は始業式で子どもたちに「カラフル」とは、「一人一人の違いを認めること」、「自分と違う友達の良さをすごいなあと認めること」であると伝え、**相手を認める第一歩は、「あいさつ」**から始まると伝えました。

今年度は、全ての学級で「カラフル」をキャッチフレーズに教育活動を推進していきます。保護者の皆様におかれましては、今年度も当校へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

■ 「私と小鳥と鈴と」 作：金子みすゞ ＊始業式で紹介しました

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが
飛べる小鳥は私のやうに、
地面を速くは走れない。

私がからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のやうに
たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい

金子 みすゞ (かねこ みすゞ、本名：金子 テル (かねこ テル)、
1903年〈明治36年〉4月11日 - 1930年〈昭和5年〉3月10日)
は、大正時代末期から昭和時代初期にかけて活躍した日本の童謡
詩人。26歳で夭逝するまで約500編の詩を遺した。

*ウィキペディアより

■教育活動が大きく変わります

①始業時刻が8時15分となります。それに合わせてバス時刻も変更となりました。

*徒歩の児童は、8時頃に学校に着くように登校時間を調整ください。

(職員の勤務時刻は、8時10分～16時40分です)

②下校時刻が、25分程度早くなります。夕暮れの早い季節の児童の安全に配慮しました。

③専科教員制を2年生以上の全学級取り入れます。国語と算数のどちらかを学年の担任が受け持ち、1・2組両方のクラスを教えます。他教科においても可能な限り専科教員制を導入し、一人の教員の担当教科数を減らし、質の高い授業の実施と学年を二人の教員で育てていくという枠組みを整えました。完全実施は、5月1日からとなります。

④新潟県教育委員会の「不登校対策プロジェクト事業」実施校に選定されました。学校が楽しく、温かな学級作りに組織をあげて取り組んでいきます。

⑤8時10分～8時20分までを全校朝読書とします。朝から落ち着いた中、子供たちの心を耕します。塵も積もれば山となる。1年間で2040分の読書時間を確保します。

■今月の一コマ



入学式



全校朝読書



1年生交通安全指導

